

ESG 投資が一大ブームに！



Stuart Magrath

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

シニア・ディレクター チャンネル・マネジメント（オーストラリアおよびニュージーランド）

この資料は、2020年11月17日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2020/11/17/esg-all-the-rage/>

環境・社会・ガバナンス（ESG）投資は、アジア太平洋地域だけではなく、世界中のすべての地域において「一大ブーム」になっているように思われます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、ESG 要因を組み込んだ指数を構築するために多くの時間と労力を費やし、ベストな方法を見いだすことに努めています。こうした取り組みの1つは、ヘッドライン指数の ESG バージョンの算出を開始したことです。例えば、当社は S&P/ASX 200 指数の ESG バージョンである S&P/ASX 200 ESG 指数 の算出を開始しました。

S&P/ASX 200 ESG 指数では、ベンチマークである S&P/ASX 200 指数の構成銘柄をユニバースとして使用し、次に3段階のプロセス（企業のスクリーニング・分類・選択）を通じて S&P/ASX 200 ESG 指数を構築します。

- スクリーニング・プロセスでは、タバコ、非人道的兵器、および燃料炭の生産または販売に携わっている企業や、国連グローバル・コンパクト（UNGC）のスコアが下位 5% にランク付けされている企業を除外する。また、世界産業分類基準（GICS®）の各産業グループ内で、S&P DJI ESG スコアが下位 25% に入っている企業も除外する。
- 次に、世界産業分類基準（GICS）の各産業グループ内の S&P DJI ESG スコアに応じて、各銘柄を最高～最低に分類する。
- 最後に、世界産業分類基準の各産業グループにおいて時価総額の 75% に達するまで、S&P DJI ESG スコアの高い順から企業を選択する。すべての産業グループに対してこのプロセスを行う。

S&P/ASX 200 ESG 指数の構成銘柄は現在 119 銘柄であり、スクリーニング・分類・選択の3つのプロセスを通じて 81 銘柄を除外しています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは 2020 年 9 月後半、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、オーストラリア証券取引所 (ASX)、および現地の金融アドバイザーとともにオンラインセミナーを開催しました。当社は、S&P/ASX 200 ESG 指数が投資家のポートフォリオの中核を担うように設計されていることについて説明しました。S&P/ASX 200 ESG 指数で採用されているメソドロジーは「厳格な」ものではありませんが、ベンチマークとほぼ同様のリスク/リターン・プロファイルを達成する一方で、ESG の観点から最もパフォーマンスの低い企業を除外する指数を投資家に提供することを目指しています。こうした方法により、市場参加者はリスクを増やさない、またはリターンを犠牲にしない一方で、価値観に沿った投資を行うことが可能となります。

クオンタム・ファイナンシャルのディレクター兼オーナーであるティム・マッケイ氏は、実務者の観点から貴重な洞察を提供しました。同氏は、自らが積み上げてきた経験に基づいて、ESG 投資ソリューションをお客様のポートフォリオの中核に据えることを提案しており、そのことに至った経緯について説明しました。お客様は当初懐疑的であり、「気分の良い」投資のためにリターンを諦めることに対して消極的でした。「環境」・「社会」・「ガバナンス」の各要素の間で難しいトレードオフが存在していましたが（例えば、航空会社は大気汚染を引き起こすが、多くの人を雇用している一方、クリーンな産業はそれほど多くの人を雇用していない）、運用報酬が低下したため、このことが持続可能な投資ソリューションを見直す要因となりました。

彼は、新型コロナウイルスのパンデミックを受け、ESG 投資ソリューションの採用が加速しており、次々と新しい投資商品が市場に投入されていることにも言及しました。また、オーストラリアで昨年夏に森林火災があったことも、ESG 投資の拡大につながったと述べています。アドバイザーは当初、これらの商品を「サテライト」投資（インデックス投資をポートフォリオの中核に据え、これに対してアクティブファンドや個別株式を加える投資手法）として利用するかもしれませんが、お客様のポートフォリオの中核に位置づけることが可能なソリューションも誕生しています。S&P/ASX 200 ESG 指数に連動する上場投資商品 (ETP) は、ESG をポートフォリオの中核に据える方法として適していると考えられ、こうした ETP は、分散され、透明性の高い、柔軟性のある、コスト効率の高い方法を提供します。

「[ESG Goes Mainstream in the Wake of 2020 Upheavals](#)」の無料オンラインセミナーをオンデマンドで視聴することが可能です。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2020 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC (以下「S&P」)の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式と手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「[Indexology](#)」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。